



しんち復興だより

第3号



発行:新地町復興推進課

平成29年10月

主な復興事業の実施場所



大富希望の橋

(46 町道・大戸浜富倉線)



防災集団移転の大戸浜団地から富倉地区や総合公園等へと至る道路が大戸浜富倉線で、津波被災の教訓により鉄道交差部には新たな橋を架けました。この橋の名前は、町民公募により「大富希望の橋」と名づけました。

	番号	事業名	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	事業 主体	備考		
各事業の実施時期	1他	防災集団移転促進事業(7団地)	(移転者による住宅建設後、順次居住)				新地町	No.1,4,6,11,12,15,44		
	3	町道・中島谷地田線								
	5	新地駅周辺市街地復興整備事業	(一部供用)							
	8	小規模住宅地区改良事業	(一部供用)							
	10	町道・雁小屋北線								
	14	町道・雁小屋線								
	18	常磐道・新地IC高速バスストップ								
	20	磯山展望緑地								
	23	埴浜防災緑地								
	26	一般県道・金山新地停車場線	(一部供用)							
	27	砂子田川(改修)								
	29	一般県道・新地停車場釣師線	(一部供用)							
	30	釣師浜漁港、臨港道路								
	31	主要地方道・相馬亘理線(改良事業・バイパス含む)	(一部供用)							
	32	〃 相馬亘理線(現道復旧事業)	(一部供用)							
	※現時点での目標です	33	町道・釣師漁港線					福島県	< 凡例 > 設計、準備等 建設中 竣工、供用 復興だよりの発行時点	
		34	釣師防災緑地	(概成・一部供用)						
		35	水産業共同利用施設	(一部供用)						
		36	町道・釣師小川線	(一部供用)						
		39	町道・田中大戸浜線歩道整備							
		40	牛川排水路							
		42	漁業集落防災機能強化事業							
		45	(仮称)小沢北線							
		48	町道・大戸浜今泉線							
		49	今泉コミュニティ広場							
		50	立田川(改修)							
		51	地蔵側(改修)							
		52	相馬港(4号埠頭)、臨港道路	(一部供用)						
		53	駒ヶ嶺地区用排水路	(一部供用)						
		竣工事業	2	町道・作田西線						新地町
			7	愛宕東地区災害町営住宅						
			9	被災高齢者共同住宅						
	13		町道・駒ヶ嶺新地線							
16	駒ヶ嶺原地区災害町営住宅									
17	常磐道・新地IC									
19	一般県道・赤柴中島線									
21	埴川(災害復旧)									
22	三滝川(災害復旧)									
24	木崎地区海岸									
25	作田前地区農用地災害復旧関連区画整理事業									
28	釣師浜漁港海岸									
37	濁川(災害復旧)									
38	JR常磐線駒ヶ嶺～浜吉田間鉄道施設復旧									
41	大戸浜地区防災コミュニティセンター									
43	町道・宮田踏込畑線									
46	町道・大戸浜富倉線									
47	富倉地区防災コミュニティセンター									

1.防災集団移転促進事業

津波被災した沿岸部から安全な地区へ集団移転を図るため7団地を整備し、このうち5団地には災害公営住宅を併設しました。現在は、殆どの移転者が住宅を建設しており、作田西地区に募集中の区画が2つあります。



1.作田東地区



4.作田西地区



6.岡地区

3.町道・中島谷地田線

役場や区画整理区域等と作田地区とを結ぶ道路の整備を進めています。



8.小規模住宅地区改良事業



津波による被災状況が混在している原添地区においては緑地や生活道路などを整備しました。



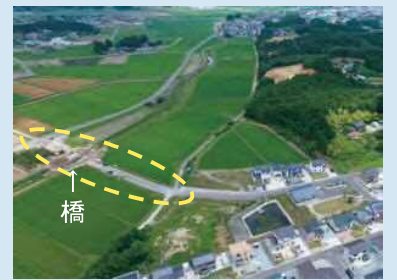
11.雁小屋地区



44.大戸浜地区

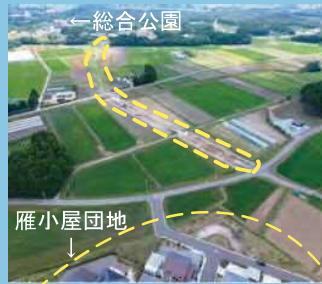
10.町道・雁小屋北線

防災集団移転の雁小屋団地から、県道・赤柴中島線へ出る道路の幅を広げており、今年度は砂子田川に架かる橋の幅広工事に取り組んでいます。



14.町道・雁小屋線

防災集団移転の雁小屋団地から南側の総合公園周辺や駒ヶ嶺地区へと安全かつスムーズに往来できるようにするため、新たな道路を整備しています。



18.常磐道・新地IC高速バスストップ

常磐自動車道を運行する高速バスに乗降可能とするため、新地ICに隣接してバス停と駐車場を整備しています。



20.磯山展望緑地

堺浜と釣師地区の防災緑地の津波減衰機能や後背地浸水低減機能を補完するため、磯山地区に盛土や植樹を行い、浜通りの美しい景観を眺望できる広場を整備しています。



23.堺浜防災緑地

津波の減衰と市街地の浸水被害範囲の縮小、避難時間の確保や漂流物捕捉により衝突被害を軽減すること等を目的として、堺浜地区の防潮堤の背後に防災緑地を整備しています。



26.一般県道・金山新地停車場線

JR常磐線の移設と、新地駅周辺の土地区画整理事業に関連し、国道6号と駅を結ぶ新たなルートで整備・開通しており、引き続き国道接続部の整備を進めます。



27.砂子田川(改修)

駅周辺の区画整理区域に隣接する砂子田川の治水安全度の向上のため河道を改修中で、役場近くの中島大橋は間もなく架橋されます。さらに海岸防潮堤の嵩上げに合わせ、堤防を再整備しています。



29.一般県道・新地停車場釣師線

JR常磐線の移設と、新地駅周辺の土地区画整理事業に関連して新たなルートで整備を進め、従前の釣師踏切については立体交差化します。



30.釣師浜漁港、臨港道路

漁港岸壁や南防波堤の復旧は終了し、引き続き釣師港橋や濁川河口部の築堤、漁港南側の防潮堤等の工事を進めています。



31.主要地方道・相馬亘理線(改良事業・バイパス含む)

碓浜および釣師地区で津波被災した相馬亘理線について、JR常磐線移設後の線路敷地を利用してバイパスを新設しており、新地駅東口～作田地区の区間は平成29年8月に部分開通しました。



32.主要地方道・相馬亘理線(現道復旧事業)

大戸浜地区より南の区間で高潮、波浪時に冠水する現道を嵩上げし、安全安心な道路を整備します。北側の区間では、平成29年度には曙橋が復旧します。



33.町道・釣師漁港線

漁港北側の道路で、防潮堤を越えて漁港へとつながります。釣師防災緑地内の交差点まで舗装工事を終えました。隣接する釣師防災緑地の工事が続くため、その進捗に応じて開通時期を検討します。



34.釣師防災緑地

津波から市街地を守るとともに賑わいの場とするため、釣師地区の防潮堤の背後に防災緑地を整備します。中に植える木は抵抗性の松のほか、「どんぐりプロジェクト」として、町民を始めとする方々のご協力を得て植樹、育成を進めています。



35.水産業共同利用施設

漁港施設の復旧工事が終わり、漁具倉庫も完成しました。現在は、被災した荷捌き施設の再建を進めています。



36.町道・釣師小川線

釣師漁港や沿岸部から国道方面への避難路としての役割を高めるため、一部区間の嵩上げや歩道整備と、さらに田中橋の架け替えを進めています。なお、写真左手前に、小川地区から相馬亘理線へのランプが設けられます。



39.町道・田中大戸浜線歩道整備

防災集団移転の大戸浜団地の北側から役場方面への道路で、平成28年度までに改修整備をしましたが、通学路になっているため、今年度には牛川橋に歩行者用の橋の整備を進めます。



40.牛川排水路

牛川地区の農地において、震災に伴う地盤沈下等により排水が流れにくくなったため、排水路整備を行っています。



42.漁業集落防災機能強化事業

釣師漁港に近い大戸浜地内において、避難道路や漁具干場、作業場等の整備を進めています。



45.(仮称)小沢北線

大戸浜富倉線の東端から直接、主要地方道・相馬亘理線へとつながる道路の整備を予定しています。



48.町道・大戸浜今泉線

防災集団移転の大戸浜団地東側から、南側の今泉地区に至る既存道路に8ヶ所程度の待避所を設置するなど通行を円滑化する整備を行います。



(着工前の状況です)

49.今泉コミュニティ広場

津波被災した今泉地区(地蔵川沿い)において、憩いの場となるコミュニティ広場を整備しました。



50.立田川(改修)

人家が連たんしている駒ヶ嶺地区の中心部を流れる立田川の治水安全度の確保を図るとともに再度の災害を防止するため、河道改修を進めます。



51.地蔵川(改修)

東日本大震災により被災した地蔵川の堤防復旧とともに、河口付近の今泉地区では河道改修を行い、海岸の防潮堤のTP=7.2mへの嵩上げにすりつくりよう堤防を再整備します。



52.相馬港4号ふ頭、臨港道路

4号ふ頭の造成は完了してLNG基地の整備が進められています。港内の臨港道路の4車線化は平成29年8月に一部供用を開始し、完了に向け舗装と照明の整備を進めています。



(着工前の状況です)

LNG貯蔵タンク

53.駒ヶ嶺地区用排水路

津波浸水や地盤沈下の被害を受けたJR駒ヶ嶺駅周辺の農地の復旧・復興のため、排水路の拡幅および水路や安全施設等を整備しています。



《新地町・沿岸部の復興状況》
相馬港～磯山
(2017年3月撮影)

ピックアップ

〈5.新地駅周辺市街地復興整備事業〉

津波被災したJR新地駅の周辺で、平均約4mの盛土や駅前整備を土地区画整理事業と津波復興拠点整備事業等により進めています。

平成28年12月10日にはJR常磐線および新地駅が再開業し、安倍首相と内堀知事をはじめ多くの皆さんの参加のもと、記念式典を行いました。

区域面積は23.7haで、引き続き次のゾーンを整備しています。

- ・商業・交流ゾーン
 - …交流センター、ホテル及び温浴施設ほか
- ・住宅ゾーン
 - …中島地区災害町営住宅ほか
- ・防災ゾーン
 - …新地町消防・防災センター
- ・雇用創出ゾーン
 - …複合商業施設ほか

住宅ゾーン

↓(中島地区災害町営住宅)



新地町消防・防災センター →



心の復興事業

「心の復興ジオラマ事業」として、平成28年度には新地駅旧駅舎をジオラマで復元したほか、「観海堂ジオラマづくりワークショップ」等を開催しました。

平成29年度には、釣師地区の被災前の町並みを3Dプリンターも活用しながら皆さんと復元していきます。

これらのジオラマは、震災アーカイブとして、釣師防災緑地内に展示します。



(制作:情景師アラーキー/荒木 智氏)

